

青木かずのり県政報告

Vol.
7

一般質問

地域活動



11月定例議会、12月6日一般質問で登壇！



問1

まちづくりの視点からの
無電柱化について

問2

観光による地域経営
について

問3

将来を担う佐賀県人の
育成について

問1 まちづくりの視点からの無電柱化について

今後、佐賀県がより良いまちづくりを一層推進していく上で無電柱化の議論も必要になってくるのではないかと思います。無電柱化について、我が国では、昭和61年から3期にわたる「電線類地中化計画」、平成11年度から15年度の「新電線類地中化計画」、平成16年度から20年度の「無電柱化推進計画」に基づき、整備がおこなわれ、現在では、「無電柱化に係るガイドライン」に沿って、無電柱化が進められています。

県においても、地域活性化や高齢化対策など、社会ニーズも多様化してきたことから、歴史的街並みの保全、観光振興、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観、災害の防止などの視点から無電柱化について、議論を進めていかなければならないと思います。

無電柱化のメリットとしては、歴史的・伝統的な街並みがよみがえり、観光により地域経済が活性化されるという観点から、まず景観の改善が挙げられます。また、地震の多い我が国において、地震により電柱が倒壊し、通行の障害となる危険性の防止、電気が漏電することによる火災などの二次災害の防止、そして、通行量が多い道路において、ベビーカーや車椅子利用者、障害者のためのバリアフリー化や目の不自由な方のための誘導用ブロック設置など、安全安心なまちづくりに資する点などがメリットとして考えられます。

一方、デメリットとしては何より、地上に電線を配線させるのに比べて地中埋設配線はコストがかかってしまう点です。次に、目視による点検が難しく、メンテナンスに時間を要する点も挙げられます。そして、電柱に設置されている、住所の表示や案内標識、防犯のための電灯や監視カメラなど、電柱を利用した生活に必要な物を設置しているケースもあり、無電柱化を推進する上で様々な課題があるというのも理解できます。

国内には、電柱が約3500万本存在し、景観に溶け込んでおり、気にならない存在と言えるかもしれません。未来に残す佐賀の風景に思いを巡らせた時、より良い景観や防災、快適な環境という視点から、まずは部分的にでも無電柱化を議論していく必要もあると思います。

県においては今後、九州新幹線西九州ルートの開業や国体の開催が予定されているため、本県を訪れる人が増えることは間違いのないと思います。県外の方が訪れたい、そして住みたい県として佐賀県が他県との違いを創出することも重要であると思います。無電柱化が、そのきっかけとなる可能性もあると考えます。

佐賀県の今後のより良い景観と快適な環境のためには議論を進めていくことも必要であると考え、提案しました。



問2 観光による地域経営について

ブランド総合研究所が10月19日に発表した「地域ブランド調査2016」において、佐賀県の魅力度は、前年の45位から38位、観光意欲度では44位から38位と大きくランクが上昇しました。

今後とも、佐賀県がより高みを目指していくためには、様々な取組みが必要であり、その中で観光分野の取組みや、イメージづくりは大変重要になってくるものだと思います。

東京などの都市部と地域とでは、サービスに格差を感じるが多々あると感じるところがあります。例えば、クレジットカードの利用できる店舗が限られていたり、市内中心部の飲食店などがピーク時以外は店を閉めていたり、おもてなし環境や接客サービスの格差など、地域がチャンスを逃してしまっているところもあると思います。

地方都市における人口減少の進行が避けられない中、観光をはじめとする、交流人口の拡大による経済波及効果への期待は、さらに高まってきています。

また、日本版DMOを活用し、マーケティングと観光の質の向上にも力を注いでいくべきだと思います。観光は、

サービス業における代表的な産業であると同時に、インバウンドにおける目標についても、今後は観光の質が大切になってくるのだと考えます。

今後とも、顧客ニーズを踏まえた様々なサービスの導入に事業主が主体的に取り組んでいただくことも重要です。また、行政においても、地域全体で観光客を受入れる仕掛けづくりや、地域の自発的・主体的な取り組みや努力に対するサポートが不可欠だと確信し、提案しました。

問3 将来を担う佐賀県人の育成について

教育には、日本そして佐賀県や社会を担っていく人材を育てるという使命があります。

将来を担う子どもたちには、生まれ育ったふるさとして佐賀県に愛着や誇りを持ち、例えば部活動や体験活動などを通じて、他人を思いやる心や忍耐強さ、諦めない心などを培った佐賀県人になってほしいと考え、質問しました。

学校における教育とは、学業はもちろん最も重要とされる場所ではありますが、志や健全な精神と身体を養うことも合わせて教育であると思います。

幕末期の肥前佐賀藩において、先人偉人たちには、確かな学識はもちろんのこと、その裏には、確かな志と郷里への誇り、そして厳しさにも耐え得る精神力や健全な身体、そして他者のためという思いやりの心が教育の中で定着していました。文武両道を兼ね備えた先人たちだからこそ、幾多の偉業を成し遂げ、当時の厳しい時代を強く生き抜き、明治維新の原動力となって、国家繁栄に寄与できたものであると確信します。

このことから、確かな学業には確かな精神や志が必要であり、このふたつは共存してこそ意義があるのだと思います。

子どもたちには様々な可能性と目標や夢をつかむきっかけがあるのだと思います。教育を受ける期間において、何かに精一杯取り組む姿勢こそが大事であると思います。ある子どもは、勉学が得意で勉学を通じて自らの可能性を見出すかもしれません。また、ある子どもは、スポーツが得意でスポーツを通じて自らの可能性を見出すかもしれません。また、そのどちらが先であれ、結果的に文武両道の如く共存することが理想的だと思います。

そこで、県教育委員会が昨年度から取り組んでいる「さがを誇りに思う教育推進事業」には大いに期待しています。

教育には、健全な心と健全な身体の育成も重要であると考えています。

子どもたちの中には勉強が得意な子どももいれば、そうでない子どももいるのではないかと思います。しかし、目標を定め、目標に向かって力を注ぐことがあれば、人間関係における信頼関係の構築や、頑張る過程で諦めない心、そして健全な身体が育つのではないかと思います。

県内唯一の山村留学実施校である、佐賀市立北山東部小学校では授業外で週に3日、剣道をおこなっています。たくましい体づくりや礼儀、厳しさを学ぶために実施されています。もちろん子どもたち全員が真冬だろうが関係なく参加しなければいけません。中には、泣きながら頑張る子どももいるそうですが、みんなで厳しさを共にしているのです。

そこには、健全な生活が創り出す健全な身体と精神が存在しています。

北山東部小学校は学力においても、全国トップの秋田県の平均よりも高く、まさに文武両道が実践されています。

このように部活動や体験活動などは大変効果的であり、こうした活動に取り組むことで大人になり困難や壁に出会った時にも、立ち向かっていけるだけの土台が身につく健全な心が育つのだと考えます。

また、中学校高等学校における運動部活動は、学校教育の一環としておこなわれていますが、厳しさや感動を共有し、絆を深め、次代を担う青少年の生きる力を育み、他者への思いやりや、公正さや規律を尊ぶ人格の形成にも大いに役立つのだと思います。

厳しさを乗り越えて、確かな学力と確かな心と身体を育んだ将来を担う多くの骨太な佐賀県人が輩出されることを期待し、提案しました。

民謡はがくれ会が全国優勝

10月に東京の両国国技館で開催されました、平成28年度民謡民舞全国大会で全国優勝した、民謡はがくれ会の皆さまに同行させていただいて山口よしのり知事へ表敬訪問しました。

今回の優勝は佐賀県で初の快挙です。

はがくれ会のメンバーは、高校生から88歳の方まで22名で民謡への熱い想いを持たれて日々活動され、多方面でご活躍になっています。

表敬訪問では民謡をご披露されました。

民謡はがくれ会が、佐賀県民謡と日本文化のさらなる発展に寄与していただいていることに心から敬意を表します。

引き続き、民謡文化について学ばせていただき、佐賀県のさらなる民謡文化の発展を見守っていきます。



より良いまちづくりを目指して

無電柱化について一般質問で取り上げるために、改めて佐賀市の柳町周辺を調査しました。

電柱を現在の地上配線から地中埋設配線へ移行させるためには多くの予算を要します。

現在、県では道路拡幅工事等の工期に合わせて地中埋設工事を実施しています。

無電柱化は景観づくりをはじめ、道路拡幅による通行環境の改善、運転時の視認性の向上、道路のバリアフリー化など歴史的な街並みや通行量が多い市街地においてはメリットが沢山あります。

歴史情緒あふれる柳町での観光客の方々からは、写真撮影で画にならない、どこから写真を撮影しても電柱や電線が入ってしまうなどのご意見を伺います。

今後は、コスト面を精査しながら低コストでの取組みにも努めて、より良いまちづくりの視点から部分的でも無電柱化を推進していくことも必要です。



柳町の旧古賀銀行

青木かずのり活動報告

11月 山口よしのり知事県政報告会出席
物産まつり・民陶火まつり訪問
今村雅弘復興大臣就任祝賀会参列
民謡はがくれ会の方々と知事表敬訪問
地元消防訓練参加
北山東部小学校ふるさと文化祭訪問
11月定例議会開会

12月 一般質問登壇
意見書調整会出席
ユージアム・アリタ訪問
常任委員会現地視察
唐津地区いちごパッケージセンター(唐津市)
産業技術学院(多久市)
北山東部小学校ふれあいもちつき会参加
森林審議会出席
後援会忘年会開催

青木かずのり事務所

〒840-0054 佐賀市水ヶ江4丁目1-43
TEL 0952-97-9323 FAX 0952-97-9324
公式HP <http://aokikazunori.com>
E-mail aoki.saga@gmail.com

